

銀行の競争度と金融政策の効果

日本学術振興会 郡司 大志

法政大学大学院 三浦 一輝

法政大学大学院 袁 媛

Stiglitz and Greenwald (2003) は、銀行業が競争的であるほど金融政策の効果は低下すると主張した。その他の理論的研究でも、同様の結論が得られている。そこで本稿では、この仮説が正しいかどうかを、クロスカントリー・データを用いて検証する。金融政策の効果の指標には、インパルス応答関数の累積値を用いる。銀行の競争度の指標には、Panzar-Rosse 統計量を用いる。推定の結果、Stiglitz and Greenwald の仮説は支持されないことが明らかとなった。